

九州医師会連合会第 123 回定例委員総会



常任理事 中田 安彦

日 時：令和 4 年 8 月 27 日（土）17：00

場 所：ホテル日航大分オアシスタワー

参加者：安里会長、宮里副会長、田名副会長、玉城議長、
稲田常任理事、平安常任理事、中田常任理事、

去る 8 月 27 日（土）、ホテル日航大分オアシスタワーにて標記定例委員総会が開催され、九州医師会連合会の令和 3 年度決算、令和 4 年度事業計画並びに予算等が審議され承認されたので、その概要を報告する。

はじめに、司会の田代委員（大分県）より開会が宣され、前年度九州医師会連合会担当県の沖縄県医師会安里哲好会長より、令和 3 年度の九州医師会連合会諸事業への協力に対するお礼が述べられた後、河野幸治九州医師会連合会長より挨拶、茂松茂人日本医師会副会長、羽生田俊参議院議員より来賓祝辞が概ね次のとおり述べられた。

挨 拶

安里哲好前九州医師会連合会長

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない厳しい状況の中、3 年ぶりに九医連の諸行事を対面形式で開催して頂いた大分県医師会の河野会長をはじめ役職員の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。さて、先の 6 月の日医役員選挙では、九州医師会連合会が推薦した松本吉郎会長をはじめ、全員が当選されたことを大変嬉しく思う。特に、九医連が他のブロックに先駆けて、松本先生を推薦するに至ったのは普段からの九医連の団結の強さの賜であると、各県の先生方のご協力に改めて感謝申し上げます。

私ども沖縄県医師会では、昨年 7 月から今年の 6 月まで九医連の諸会議を担当してき

たが、新型コロナウイルス感染症の流行下という特殊事情の中で、1 年間コロナと闘いながらの厳しい会務運営であった。前年度担当の宮崎県を参考にしながら、次期担当であった大分県の近藤稔九医連副会長にも何度もご相談を申し上げ、会務を運営してきたが、九州各県の先生方を沖縄にお迎えして現地開催することが出来ず、大変心残りであり、また、九州各県の先生方には申し訳なく思っている。そのような中でも皆様方のご理解とご協力により、大きなトラブルもなく、無事終了することができた。1 年間、不行き届きの点は多々あったものと思うが、九医連諸行事の円滑なる運営にご指導ご協力頂き、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。そして、今期ご担当の大分県医師会においては、河野会長を筆頭に、役職員の皆様が一丸となり、会務を遂行なさると考えているので、1 年間よろしく願い申し上げます。

河野幸治九州医師会連合会長

コロナ収束の兆しが見えない中、現地開催をしてよいものか悩んだが、思い切って開催させていただいた。九医連の先生方には遠路大分までご参集いただき感謝申し上げます。私は去る 7 月 9 日に開催された九医連常任委員会で会長に就任した。昨年の沖縄県医師会の安里会長、役職員の皆さんには大変お世話になった。改めて感謝申し上げます。昨年の沖縄県医師会をお手本に九医連副会長の森崎会長にご相談申し上げ、

九州各県の皆さんと連携を取りながら対応していきたいので、ご指導とご協力をお願い申し上げます。政府は新型コロナウイルス感染者の全数把握方法の見直しを打ち出してきた。感染拡大に歯止めがかからない中、緊急的な対応として業務が逼迫する医療機関や保健所の現場負担の軽減を重視した形だが、官邸の方針は2点、3点し抜本的な対策とは程遠い。健康観察の対象から外される重症化リスクの低い患者の健康管理をどうするのかと課題も多い。大分県医師会では大分県と十分協議をしていくが、現時点では全数把握は大事なことであると考えている一方で、入力内容を必要最小限に絞ることも重要であると考えている。いずれにしても感染をこれ以上起こさせないように、小児を含む若い世代へワクチン接種の推進、内服薬の早期承認等が挙げられる。最後に本日は本年度の九州医師会連合会並びに九州医師会医学会の事業計画や予算等を予定しているので、慎重にご審議のうえ、ご承認を賜るようお願い申し上げます。

来賓祝辞

茂松茂人日本医師会副会長

本来であれば、松本会長がここへきて皆さんへ挨拶をするところだが、公務が重なっているため、松本会長より祝辞を預かったので代読する。去る6月に開催された日本医師会定例代議員会の所信表明において、日本医師会の役割は国民の健康と命を守ることだと申し上げた。国民の健康と生命を守り続けるには、地域医師会はもとよりすべての医師並びに医療関係者の理解と協力、国や関係機関との連携が不可欠である。加えて現場からの情報収集を行い、医療現場の問題としてとらえ日本医師会の会務に反映させていく中で、地域から国へと流れを築いていくことが必要である。日本医師会の会務の実効性を高めていくためには、組織力強化が不可欠である。2024年に迫った時間外労働上限規制の適用、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬改定など、医療を取り巻く課題は山積している。この難局を乗り越えていくためにも、一人でも多くの仲間が必要である。すでに組織力強化に向

けた取り組みとして、令和5年度より卒後5年間の会費無料化を決定した。この取り組みをより実効性のあるものとするためには、すべての医師会で同様の取り組みを行ってもらうことが必要である。日本医師会ではいかなる状況となろうとも、国民の健康と生命を守り続けるために、執行部一丸となって全力で取り組んで参るので、一層のご支援を賜るようお願い申し上げます。

羽生田俊参議院議員

私は第2次岸田内閣改造で厚生労働副大臣を拝命した。担当は労働・福祉・年金となり、厚生部門は伊佐副大臣が担当している。コロナに関しては省庁をあげて取り組んでいく。皆さんも大変な思いをされたかと思うが、もう暫く頑張らないといけないと思うので、今後ともどうぞよろしくようお願い申し上げます。

報告・議事

座長に河野幸治九州医師会連合会長が選出され、報告、議事が進められた。

報告(1)第402回常任委員会については河野会長から、(2)令和3年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告については、昨年度担当した沖縄県医師会宮里達也委員より資料に基づいて報告があった。

引き続き行われた議事については、次の7議案が上程され、それぞれ各担当委員より提案理由の説明があり、協議した結果、全議案とも前回一致で原案どおり承認された。

第1号議案 令和3年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

昨年度担当した沖縄県医師会稲田隆司委員より決算報告の後、令和3年度の監事の坂本不出夫委員(熊本県)より令和3年度九州医師会連合会歳入歳出決算について会計監査を行ったところ、帳簿並びに関係書類は適正妥当である旨会計監査報告があった。

歳入合計	100,085,406 円
歳出合計	21,013,119 円
差引残高	79,072,287 円

第2号議案 令和4年度九州医師会連合会事業計画に関する件

下記諸事業を行うことが決定。

1. 連絡協調並びに定例諸会議の開催に関する事項
 - (1) 常任委員会及び委員総会
 - (2) 九州ブロック日医代議員連絡会議
 - (3) 各種連絡協議会
 - (4) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議
 - (5) 日本医師会と連携強化
 - (6) その他
2. 支援すべき事項
 - (1) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会（7/9・大分）ハイブリッド開催
 - (2) 九州ブロック学校保健・学校医大会（7/31・長崎）ハイブリッド開催
 - (3) 九州学校検診協議会（7/31・長崎）ハイブリッド開催
 - (4) その他
3. 九州医師会総会・医学会の開催（11/25～11/27・大分）

第3号議案 令和4年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

会員一人 年額 2,000 円とする。

（但し、研修医については減免により無料とする）

第4号議案 令和4年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

歳入歳出予算額 128,563,287 円

第5号議案 令和4年度九州医師会連合会監事（2名）の選定に関する件

福岡県の瀬戸裕司委員、宮崎県の小牧斎委員が選出された。

第6号議案 令和4年度第122回九州医師会医学会事業計画に関する件

令和4年11月25日（金）前日諸会議、26日（土）合同協議会、総会・医学会、27日（日）分科会がホテル日航大分オアシスタワーをメイン会場に開催することが決定された。なお、記念行事は全て中止となっている。

第7号議案 令和4年度第122回九州医師会医学会会費賦課に関する件

会員一人 年額 2,000 円とする。

（但し、研修医については減免により無料とする）

印象記

常任理事 中田 安彦

8月27日、標記委員総会が開催されたので報告する。安里前九医連会長挨拶で日医役員選挙では九医連が全国に先駆けて松本先生を推薦し当選させることができたのは九医連の団結の賜である。また、新型コロナウイルス感染症の流行下で1年間コロナと闘いながらの厳しい会務運営であったが九州各県の協力で無事担当県の役割をこなすことができたことと述べられた。

河野幸治九医連会長（大分県医師会長）の挨拶でコロナ収束の兆しが見えない中、大変悩みながら現地開催を決定した。コロナ感染の抑え込みには小児を含む若い世代へのワクチン接種の推進、内服薬の早期承認が挙げられる等と述べられた。

松本日本医師会会長来賓挨拶（茂松日医副会長代読）で、「日本医師会の役割は国民の健康と命を守ることである。そのためにはすべての医療関係者の理解と協力、連携が不可欠であり地域から国への情報の流れを築くこと、日本医師会の組織力強化が不可欠である。2024年に迫った時間外労働上限規制の適用、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬改定など課題は山積みである。また、令和5年度より卒後5年間の会費無料化を決定した。」と述べられた。また、羽生田参議員から厚生労働副大臣になったとの来賓挨拶があった。九医連令和3年度決算、令和4年度事業計画、負担金賦課等について議案が提出され承認された。

特記事項として、令和4年度第122回九州医学会は現地開催とするものの記念行事は全て中止とすることが決定された。